

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立小坂小学校] 担当教諭名 [橋本 雅美] (6年2組 31名)

交流相手国 [ウガンダ]

海外学校名 [St.Mary's College Lacor] 担当教諭名 [Nyeko Samuel]

■実施教科・時間数について教えてください。

| | 教科 | 単元名 | 時間数 |
|-------------------------|-----------|----------------------|-----|
| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 総合的な学習の時間 | 世界の人とかかわりながら生き方を考えよう | 28 |
| | 英語 | Our town | 2 |
| | | | |

■作品について教えてください。

| 題 (テーマ) | We Love Heiwa and Emirembe |
|---|---|
| 絵に込めたメッセージ | お互いに平和を願っていることがわかった。平和を象徴するものとして、ウガンダは、アフリカ・太陽の光・命を表現する黒・黄・赤を使い、鳥や家族などを描いた。日本は、戦争の過去を発展で塗り替えるような工夫と、平和だから続いた金沢の文化や伝統を描き、中心に世界の人々が手をつないでいる絵を描いた。 |
|  | |

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダと交流することで、日本だけではなく世界に目を向けて興味をもつようになった。 ・自分の生活環境をふり返り、平和の大切さを感じることができた。 ・壁画が完成し、達成感を得ることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダのインターネット環境の違いや学校の事情もあつてか、同じ活動ができなかったのも、子どもたち同士の交流できたという意識が薄かった。 |

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化 | 教師の意識の変化 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダという国を知らなかった児童が多かったが、調べていくことで日本との共通点や相違点を見つけ、興味をもつようになった。そして、メールのやりとり(教師)や写真を見ることで、平和を思う気持ちに国境はないことに気づいた。また、他に国とも交流してみたいという意欲が出てきた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウガンダについて深く知らず、子どもと一緒に学習した。ウガンダの先生方もとても親しみを込めたメールをいただき、親近感がわいてきた。もっと長期的に交流してみたいと思った。 |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科等 |
|---------|-------|---|---|------------|
| 自己紹介 | 9月 | <ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介や金沢のおすすめの場所を書く。 自己紹介カードをもとに自己紹介ビデオを作成する。 | 自己紹介カードは、読む人を意識して丁寧に書いていた。ビデオの撮影では、実物を見せたり実演したりして、わかりやすく伝える児童もいた。 | 総合4 英語2 |
| テーマ学習 | 7月～1月 | <ul style="list-style-type: none"> ウガンダの国について、テーマを決めて、一人で調べた。 「もし、100人の村だったら」のワークショップに参加した。 JICA ウガンダの隊員の方々とスカイプ交流をした。 | 調べたことを発表しあうと、ウガンダのことがよく知れて、興味をもつようになった。実際に体を動かすワークショップは、世界いろんな事情を理解することができた。スカイプでは、日本語でたくさん質問し、楽しんでいった。 | 総合8 |
| 構図決定 | 11月 | <ul style="list-style-type: none"> 一人一人平和を象徴するものを考えてスケッチを描く。 多く描かれたものや、おもしろいアイデアを採用し、構図を決定した。フォーラムで相談や提案をした。 | 伝統、文化や新幹線など描きたいものが似ていた。一人一人のスケッチを見て、いいアイデアを選び、それを合体させていた。 | 総合4 |
| 壁画制作 | 12月 | <ul style="list-style-type: none"> 実行委員を決め、下描きを書き始めた。 色塗りの分担をして取り組んだ。 色塗りをしない間は、プレゼントを作る。 | 粘り強く協力しながら色塗りを進めた。図工の先生からもアドバイスをいただき、納得のいく仕上がりになった。色を塗る以外にも、プレゼント作りを楽しんで行った。 | 総合10 |
| 鑑賞・振り返り | 3月 | <ul style="list-style-type: none"> 完成した絵の鑑賞会をした。 1年間のふり返しをした。 | 壁画を開いた瞬間、歓声があがった。一緒に入っていた手紙や写真も興味深げに見ていた。 | 総合2 |

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

| 学習目標・つけたい力 | 目標 | 成果 | 成果についてそう感じた場面・理由 |
|--------------------------|----|----|--|
| 自文化の理解 | A | 5 | 遠足や英語を通して、金沢の文化や伝統について興味をもち、理解を深めることができた。 |
| 異文化の理解 | A | 4 | 自分でウガンダについて調べ、メールのやりとりやスカイプで交流することで、理解を深めることができたが、個人差もあった。 |
| コミュニケーション力 (説明・共感・英語) | B | 3 | 英語で自己紹介は上手にしたが、意思の疎通までは難しかった。 |
| 情報活用能力 (情報収集・発信) | C | 3 | 自分でインターネットや本でウガンダについて調べることができた。 |
| 人間関係をつくる (学級内・交流相手) | B | 3 | ウガンダに自己紹介カード等送ったが、子ども同士での交流があまりできなかった。 |
| 協働する力 (役割分担・協力) | B | 5 | 実行委員会を立ち上げ、役割分担をはっきりさせた。遅いグループを進んで手伝うことができた。 |
| 学習を追究する意欲 | A | 3 | ウガンダの現実の問題についてさらに理解を深めてほしかったが、時間がとれず、意欲に個人差があった。 |
| 表現力 (伝えたいことを絵で表す) | C | 2 | みんなのスケッチから、平和を願う思いが伝わるものを選び、話し合いをしながら構図を決めた。 |
| 作品を鑑賞する力 | C | 3 | ウガンダの絵から、ウガンダの人々の感じ方や大切にしているものを感じ取ることができた。 |